いります。

川島　仁　議員

▼集落排水

問 ①集落排水的なものが町内全域にできるか
②大総地区の利用率（加入率）
③農業排水路、池の水質調査・検査を実施したことがあるか

答 ①町の汚水処理計画は、農業集落排水事業、公共下水事業、個別合併処理浄化槽の三つの処理区域を計画しています。

農業集落排水事業については、木戸台、中台の2地区、残る区域を公共下水道事業及び個別合併浄化槽設置区域として定め整備していく計画ですが、当面は農業集落排水整備区域以外は個別合併浄化槽設置で対応していく考えです。

②木戸台地区農業集落排水事業は、対象集落として木戸台、町原、小堤、谷台、牛熊の5地区で現況戸数204戸に対し、加入戸数177戸（一般家庭）で加入率86・7％です。

また、平成16年度に供用開始予定の中台地区は現況戸数56戸に対し、加入戸数50戸で加入率89％の状況です。

③木戸台クリーンセンターについては、毎月、流入水、放流水及び4か月に一度、放流先となる高谷川合流直前での水質検査を実施しています。

また、ふれあい坂田池公園、マリンピア栗山川のし尿浄化槽の放流水水質検査を年間2回実施しています。

▼納　税

問 ①未納者の対応と対策はどうしているか
②町長は未納者と意見交換したことがありますか

答 ①納期内に納まらない方には、督促状の発送、それでも納税されない場合は、年2回催告書を発送しています。

なお、催告書によっても納税に応じない方に対しては、呼び出しによる納税相談を実施しています。

このほか臨戸徴収を実施しており、今後も滞納者の実態を調査し、臨戸徴収等を強化してまいります。

また、高額の滞納者については、資産状況を調査し資産の差し押さえを行うなどの対応を図ってまいります。

②意見交換は、行っていませんが、お会いした際に納税をお願いしています。

▼市町村合併

問 ①三町（横芝・芝山・多古）の合併の進展はどうか
②他の町と合併を考えているか
③単独行政を行うのか

答 ①②大変厳しい状況と考えますが、三町での合併に全力で取り組んでまいります。

③少子高齢化、財政問題を考えると合併は、しなければならないと考えています。

早川　光彦　議員

▼海岸部の開発と環境整備

問 ①漁港の改修について
②環境整備について
イ、飯岡一宮線の早期バイパス化
ロ、海岸部への進入路と駐車場の新設
ハ、マリンピア栗山川公園内の施設の充実
ニ、屋形今切緑地の保全と有効利用

答 ①栗山川漁港は、航路に砂が堆積し漁船の出入りが自由にできない状況ですので、漁船の出入りが安全に行うことができるよう抜本的な解決を求め、今後も関係者と共に本格的な事業化が早期に図られるよう要望してまいります。

②イ、この道路は、県単独予算により、南川岸から立会までの延長1400m区間のバイパスを建設するもので、現在、南川岸交差点から子どもの国までの400m区間が完成しています。

今後も引き続き残りの子どもの国から屋形橋までの1000m区間の早期完成を要望してまいります。

ロ、自然環境に配慮しなければならないものであり、法律、条例等、クリアしなければならない課題もありますので、現在利用している道路、駐車場を管理していく考えです。

ハ、今後の利用状況や要望等を聞きながら検討してまいります。

ニ、今切地先の町有地一帯は保安林に指定されており、自然環境保護の観点から今後も緑地の保全に努めてまいります。

小川征四郎　議員

▼中学校建設

問 ①建設用地変更に伴う地権者対応について
②一部予算の執行について
③今後の推進計画について

答 ①建設場所の変更については、変更決定の翌日に各地権者を訪問してお伝えしました。留守の地権者には文書による通知のあと、電話連絡などにより説明に努めました。

しかし、その後に開催した「地権者説明会」まで一か月を要したことは申し訳なく思っています。

今後は、各地権者の事情等を考慮し、個別に対処してまいります。

②計画変更前（給食センター北側）の建設用地に関する支出については、不動産鑑定委託料や農振農用地からの除外手続きに関連した基礎調査費、アンケート調査費などがあります。これらの支出のなかには、結果として不用となった支出もありますが、これは、あくまで結果論であり、事業推進のために欠くことができない事務事業であったものと考えています。

③教育長を中心に「中学校建設に関する作業チーム」を教育委員会部内に設置し、学校建設の根幹部分について検討中です。基本部分がまとまり次第、建設推進委員会を開催する予定です。

▼福　祉

問 障害者支援費制度の現状と問題点について

答 現在31名の方が制度を利用しています。問題点について